

令和3年度英語コミュニケーション事業業務委託にかかる
公募型企画競争（プロポーザル）方式による受注者の選定結果について

1 案件名称

令和3年度英語コミュニケーション事業業務委託
契約期間：契約締結日から令和4年3月31日まで

2 選定した委託予定事業者

ヒューマンアカデミー株式会社

3 公募期間

令和3年5月17日から令和3年6月18日

4 学識経験者の意見を聴取した選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿（敬称略・五十音順）

委員氏名 役職等

佐々木 緑 （大阪成蹊大学教育学部 准教授）

山岡 賢三 （大阪教育大学多文化教育系 特任教授）

山下 昇 （相愛大学 名誉教授）

(2) 選定委員会の開催日

第1回：令和3年4月28日～令和3年5月10日（オンライン実施）

第2回：令和3年7月12日

(3) 審査基準

評価項目	採点基準	配点
業務目的および業務内容の理解度	本事業に対する考え方について、積極的に英語を学習する動機付けとなるという事業目的に沿った内容となっているか。	10
業務遂行にあたっての総合的な視点、姿勢	自国と他国の文化を理解しながら、英語で自己表現できるプログラム内容及び英語への苦手意識を軽減させるプログラム内容となっているか。	20
	行政にはない専門性・独創性があり、かつその内容が、学校現場で実現可能な方法、計画で企画されているか。また、学校との調整は円滑な事業遂行に寄与するものとなっているか。	20
	提案内容を適切に遂行できる実施体制、参加人数に適したスタッフ配置となっているか。	20
	危機管理体制が適切に計画されているか。	10
	個人情報の取扱いについて、適切かつ安全に管理できる体制であるか。	

類似事業の実績	類似した事業実績があるか。	10
費用積算根拠の妥当性・ 効率性	提案内容に対して費用及び積算根拠が妥当であるか。	10
合計		100

(4) 審査の結果（選定委員3名の合計点）

評価基項目	事業者 A
業務目的および業務内容の理解度	26
業務遂行にあたっての総合的な視点、姿勢	185
類似事業の実績	28
費用積算根拠の妥当性・効率性	29
合計	268

(審査を行った事業者は1事業者)